

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和3年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原麻溝公園ふれあい動物広場
指定管理者名	公益財団法人 ハーモニイセンター
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	◆相模原麻溝公園内ふれあい動物広場：動物舎12部屋490.55㎡、救護舎3部屋132.00㎡、ポニー舎1部屋340.52㎡、鹿舎1部屋90.00㎡、アライグマ・リスザル舎4部屋65.14㎡、牛・豚舎4部屋88.00㎡ 展示コーナー：常時30種以上の展示、ふれあい動物広場コーナー：常時5種以上配置、ポニー乗馬場：常時3頭以上配置
施設所管課	環境経済局 公園課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ポニー乗馬人数(人)	86,619	82,811	68,988	38,233	52,861		
ポニー乗馬収入(円)	8,558,900	8,188,300	6,814,900	4,607,930	6,805,370		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
C	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月6日から10月1日まで施設閉鎖としたため、利用者が減少した。達成度についても、コロナによる影響を考慮し、従来目標値より3割目標値を下げたが、達成度は約84%となり未達である。しかし、前年利用者数からは約15,000人増加しており、利用者が回復傾向にあり十分な経営努力の成果であると評価する。

指標	
指標名(単位)	ポニー乗馬人数(人)
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度=実績値/目標値

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	96,853	96,853	82,500	75,000	63,000		
実績値(人)	86,619	82,811	68,988	38,233	52,861		
達成度(%)	89.4%	85.5%	83.6%	51.0%	83.9%		

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	事業の実施状況については達成度129%「S評価」となる。コロナの影響による未実施事業を極力抑え、人数制限や感染症対策など様々な制限下において、事業実施の為手法など創意工夫されたことについては大いに評価でき、利用者増加にもつながっている。今後は中止事業の開催方法の検討など、更なる利用者増加へ向けて引き続き努力いただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ポニー乗馬	通年(休園日除く)	ポニーの引き馬 2歳～小学校6年生	◎
小動物とのふれあい	通年(休園日除く)	モルモットなどの抱っこやふれあい	◎
動物展示	通年(休園日除く)	展示	◎
ポニー教室	年6回(各回5日間)	乗馬・馬小屋掃除・手入れ等 市内在住小中学生	◎
障がいのある児童のためのポニー乗馬	月6回(毎月第2・3・4土曜日の午前・午後)	乗馬・馬小屋掃除・手入れ等 市内在住4歳～中学生(障がい児)	◎
動物クラブ	6月～3月(休園日除く)	飼育体験 小学校3年生～中学生	○
団体利用	通年(休園日除く)	市内の児童施設、障害施設、各種団体の利用	○
周辺施設との連携	通年(休園日除く)	麻溝公園、県立相模原公園、健康文化センター、総合体育館等との相互協力	△
市民ボランティアの育成	通年(休園日除く)	市内の高校生や成人を対象としたボランティア育成	△
牛の搾乳体験	通年(休園日除く)(中止)	乳牛の搾乳	/
動物フェスティバル	4月・10月(中止)	日常のプログラムの他各種ゲーム、アトラクションを場内に設置	/

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
子どもポニーボランティア	通年(休園日を除く)	ポニー教室のお手伝いなど ポニー教室参加経験者(小学1年生～中学3年生)	◎
出張動物教室	通年(広場業務に支障がないように)	ポニー・小動物を施設に派遣 市内及び近隣市町の公共施設が対象	○
さがみはらっこポニーキャンプ	年2～3回	宿泊ポニーキャンプ 市内在住の1年生～中学3年生	○
動物の餌の販売	通年(休園日を除く)	小動物・ミニチュアホースのエサあげなど	◎
大きい馬への餌あげ	毎月3～4回	馬の餌あげ	◎
季節プログラム	年6～9回	季節の行事に合わせた乗馬プログラム	◎
健康づくり乗馬教室	通年	青年から高齢者、要介護者等を対象とした乗馬	○
親子二人乗り乗馬	通年(中止)	保護者と2歳から小学3年生	/
特別展示プログラム	夏休み期間(中止)	水生生物展示	/

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	そもそもの目標値が100%となっているため、「B評価」となるが、例年高い水準で満足度が推移しており、十分評価できる実績である。アンケート意見も園への感謝の言葉が多くみられ、指定管理者の経営努力が伺える内容となっており、引き続き利用者のニーズに対応した施設運営をお願いしたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	職員が直接アンケートを依頼、アンケートコーナーを設置/120部
目標値の基準	4段階評価のうち「とても思う」「思う」合わせて100%

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	100	100	100	100	100		
実績値 (%)	94	94	98	99	99		
達成度 (%)	94.0%	94.0%	98.0%	99.0%	99.0%		

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	施設の収支としては、本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況については、特段の課題は無いことからS評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
収入 (a)		92,968	104,098	100,005	
	指定管理料	86,153	85,883	84,834	
	利用料金収入	6,815	4,608	6,805	
	その他の収入	0	13,606	8,366	
支出 (b)		97,140	94,238	88,371	
	人件費	50,803	46,510	51,291	
	本社管理経費	17,110	15,384	9,861	
	その他の支出	29,226	32,344	27,219	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		-4,172	9,859	11,634	
自主事業収入 (d)		15,610	6,537	10,476	
自主事業支出 (e)		13,389	12,104	12,262	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		2,221	-5,567	-1,786	
全体収支 【(c)+(f)】		-1,951	4,292	9,848	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和4年2月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	各種イベントの情報とは別に、各動物たちの様子を定期的に掲載している。

9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症拡大によるプログラム休止期間はあったものの、令和2年度に比べて再開実施できたプログラムが多かったことに加え、実施したプログラムについても情勢を見て制限を見直すことができた。それにより補助金がない中での黒字の維持とプログラムを通して市民への還元を実施できた。

10 所管課意見

ポニー乗馬については、新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策の影響もあり、達成率は83.9%となったが、昨年度より約15,000人ほど利用者数が増加しており、コロナ禍で減少傾向にあった利用者数が回復傾向にあるのは、指定管理者の経営努力の賜物である。また感染症対策や利用制限を行ったなかで、施設全体の利用者満足度も高い水準を維持していることは評価できる。実施事業についてもコロナによる中止を極力抑え開催をしている点も利用者回復の一助になっており、評価できる。今後は、利用制限の緩和や中止事業の見直しに向け、開催方法の工夫などさらなる利用者の回復に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

- ・利用者数については、前年より15,000人ほど増加していることは評価できる。動物広場を起点に麻溝公園全体の活性につなげてほしい。
- ・動物を扱う特殊な施設ではあるが、ここ1,2年は利益が出ており、今後は利益還元にも目を向けてほしい。
- ・利用者満足度の評価指標について、現在の目標値設定が100%の為、成果値が100%でもA評価となり、評価がSになることがない。目標を高く定める事業者としての理念は理解できるが、実態と合わせた設定が必要と考えられる。

総合評価（自動判定）

